

1/22(木)に学校保健・給食委員会を開催いたしました。報告・協議のあとに、学校内科医 廣田勝太郎先生、
学校歯科医 半田良浩先生、学校薬剤師 萩原明星先生の3名から、講話をいただきました。
今回は、講話の一部抜粋をお知らせいたします。



がっこうほけん きゅうしょくいんかい 学校保健・給食委員会



【ウイルス感染について】

1 ウイルスについて 2 インフルエンザについて 3 コロナについて

4 かぜに抗生剤は効きません!! 5 抗生剤と耐性菌

6 A型肝炎麻疹など 7 B型肝炎C型肝炎

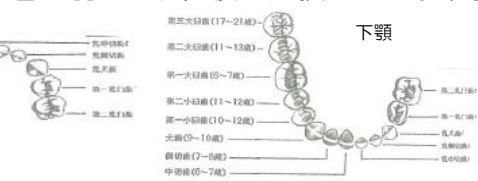
の項目で多岐に渡り専門的な立場からお話いただきました。

とくに、“6 A型肝炎 麻疹”については小児期に罹ると軽くすみ、抗体が一生続き二度と罹らない。そのため、これらの病気にはワクチンを小児期に打つことが大切とのことでした。

【小学生の歯について】

歯の生え変わりや、永久歯の先天性欠如、MIH、第二大臼歯萌出障害などについてお話いただきました。

とくに、MIHとは原因不明の歯のエナメル質の形成不全であり、第一大臼歯と前歯にこり、白濁や黄褐色、褐色が認められ、後に欠損がおこりやすい症状だそうです。



講話資料より 歯の生え変わりについて



【子宮頸がんとその予防について】

子宮頸がんは初期の自覚症状はありません。進行すると不正出血やおりものの増加、下腹部や腰の痛み等症状があります。将来、妊娠出産ができなくなる可能性もあります。

子宮頸がん予防にはワクチン接種と定期検診が大切です。

ワクチンの定期接種は小学校6年生から高校1年生相当の女子です。

ワクチンは複数回うつ必要があります。ご家庭でよく相談してください。

子宮頸がんとその予防
子宮頸がん 治療 検査

定期接種
小学校6年生～高校1年生相当の女子
今年度 12歳～16歳 になる方
2009年4月2日～2014年4月1日生まれ / 標準的な接種時期は中学校1年生

今回の学校保健給食委員会では、令和7年度の篠井小の健康診断結果統計や保健室来室状況、新体力テスト結果統計、給食実施状況についても学校側から報告を行いました。実際に報告した内容をさくら連絡網で配信いたしましたので、ぜひご確認ください。